

徳島県つるぎ町でドローンによる被害状況の調査を実施(第2弾)

平成30年 7月 17日
徳島森林管理署

平成30年7月豪雨では、徳島県内各地に大きな災害をもたらしましたが、徳島県つるぎ町桑平地区(くわひらちく)の国道438号線では、地すべり性の山腹崩壊が発生しました。国道438号線は、周辺地域住民の重要な生活道であるほか、剣山登山者が利用する重要な道路でもあることから、7月13日徳島県森林整備課から徳島森林管理署に対し、被災状況把握の支援要請がありました。

これを受け、徳島森林管理署では、7月14日、当署職員が無人航空機(ドローン)の空撮による被災状況(位置、規模等)の調査を行うとともに、空撮データ・分析結果を徳島県森林整備課に提供しました。

徳島森林管理署は、地元自治体と連携し、ドローンを活用しながら、被災状況の把握と復旧に全力で取り組んで参ります。

つるぎ町桑原地区の災害現場



徳島森林管理署職員によるドローン調査



注：写真(上2枚とも)は徳島県森林整備課提供